



三菱UFJ証券ホールディングス

2021年3月期 第2四半期 決算説明資料

三菱UFJ証券ホールディングス株式会社

2020年10月

・ 連結決算ハイライト	P2
・ 業績の推移	P3
・ 連結決算サマリー	P4
・ 業務別概要	P7

Appendix

・ 連結業績推移	P8
・ 連結貸借対照表の状況	P9
・ 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(MUMSS)の状況	P10
・ auカブコム証券・海外現地法人の状況	P13
・ 【ご参考】国内証券会社の状況	P14
・ 財務基盤関連指標(格付・自己資本規制比率)	P15

注)本資料掲載情報は、本頁以降、特段の追記がなければ表示単位未満は切捨て記載しております。

また、海外拠点の決算日は連結決算日と3ヶ月異なるため、累積業績推移は1~6月、四半期業績推移は4~6月の実績となります。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券(MUMSS)と三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券(MUMSPB)は2020年8月1日にMUMSSを存続会社とする吸収合併を行いました。当該合併に伴い、MUMSS連結は無くなりましたので、当四半期以前も含めMUMSSの計数については、MUMSS単体の計数を記載しております。

累計業績推移

- 財務ベース業績は、純営業収益 1,485億円(前年同期比+4%)、経常損益 257億円(同+157%)、親会社株主に帰属する当期純損益 148億円(同+254%)
MUSAを含む実質ベースでは、純営業収益 1,928億円(同+13%)、経常損益 401億円(同+246%)、親会社株主に帰属する当期純損益 256億円(同+363%)
- 国内拠点は、新型コロナウイルス感染拡大を受けた緊急事態宣言下での業務停滞が響き減収も、前年度から取り組んできたコスト構造改革が寄与し増益
国内営業では、MUMSSとMUMSPBの合併が完了。アドバイザー型ビジネスへのモデルシフトやリモート環境整備が進展し、業績も復調
- 海外拠点は、高ボラティリティのマーケット環境や流動性需要拡大などの収益機会を捉え、欧州フロープロダクツ・米州キャピタル・マーケットが大幅伸長

(単位: 億円)
純営業収益
販売費・一般管理費
経常損益
親会社株主に帰属する当期純損益

財務ベース		
2020年3月期 2Q累計	2021年3月期 2Q累計	前年同期比 増減率
1,416	1,485	+4%
1,425	1,308	△8%
100	257	+157%
41	148	+254%

MUSAを含む実質ベース(※)		
2020年3月期 2Q累計	2021年3月期 2Q累計	前年同期比 増減率
1,694	1,928	+13%
1,679	1,599	△4%
115	401	+246%
55	256	+363%

四半期業績推移

- 国内拠点は、営業活動量の回復とともに全セグメント増収
- 海外拠点は、四半期ベースで過去最高益を達成

(単位: 億円)
純営業収益
販売費・一般管理費
経常損益
親会社株主に帰属する当期純損益

財務ベース		
2021年3月期 1Q	2021年3月期 2Q	前四半期比 増減率
645	839	+29%
636	671	+5%
61	195	+216%
43	104	+140%

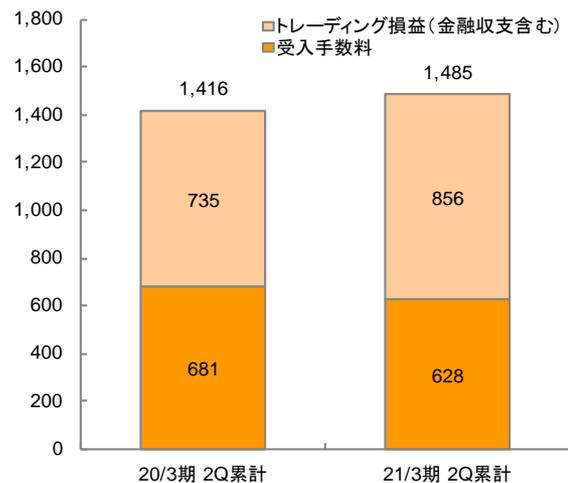
MUSAを含む実質ベース(※)		
2021年3月期 1Q	2021年3月期 2Q	前四半期比 増減率
780	1,148	+47%
765	834	+9%
62	339	+442%
44	212	+380%

※ MUFGセキュリティーズアメリカ(MUSA)は、2017年3月期3Qより米国プルデンシャル規制対応のため当社の連結対象外となりましたが、社内収益管理は引き続き同社を含めて行っているため、合算ベースを記載しております。

累計業績推移

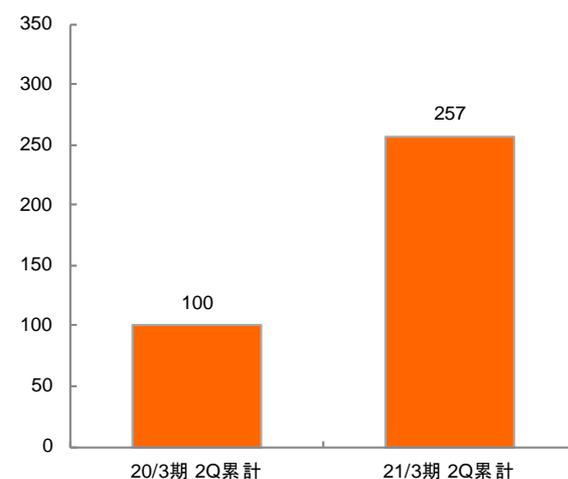
純営業収益

(単位:億円)



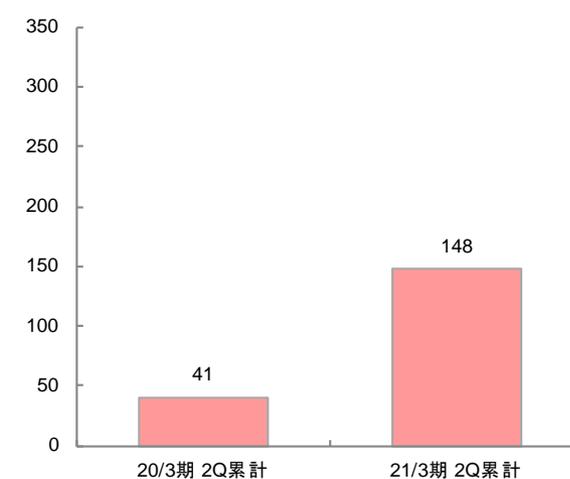
経常損益

(単位:億円)



親会社株主に帰属する当期純損益

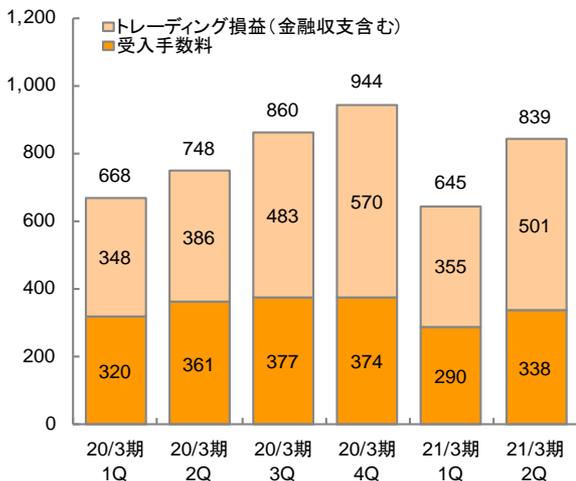
(単位:億円)



四半期業績推移

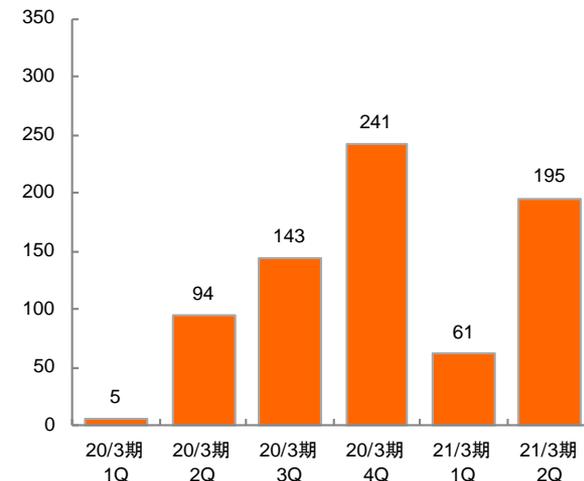
純営業収益

(単位:億円)



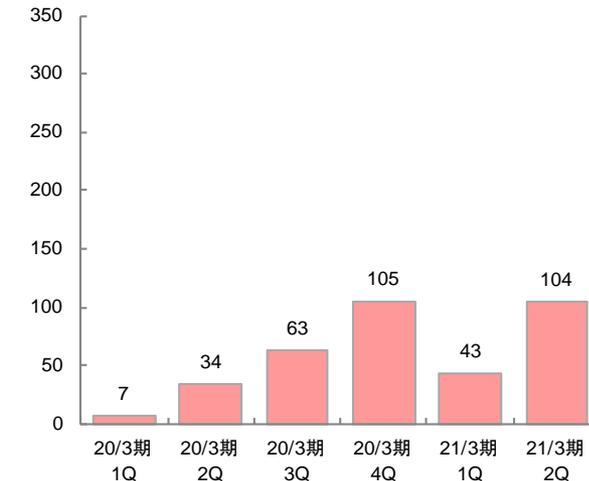
経常損益

(単位:億円)



親会社株主に帰属する当期純損益

(単位:億円)



受入手数料

第2四半期累計実績：628億円

■ 前年同期比 △52億円 (△7%)

- 委託手数料：株式売買代金の増加により増収
- 引受・売出手数料：株式引受案件の延期や、前年同期の大型債券引受案件剥落等により減収
- 募集・売出手数料：公募投資信託の販売額は増加したものの、私募ファンド(不動産等)の募集が減少
- その他受入手数料(その他)：M&A関連収益が減少

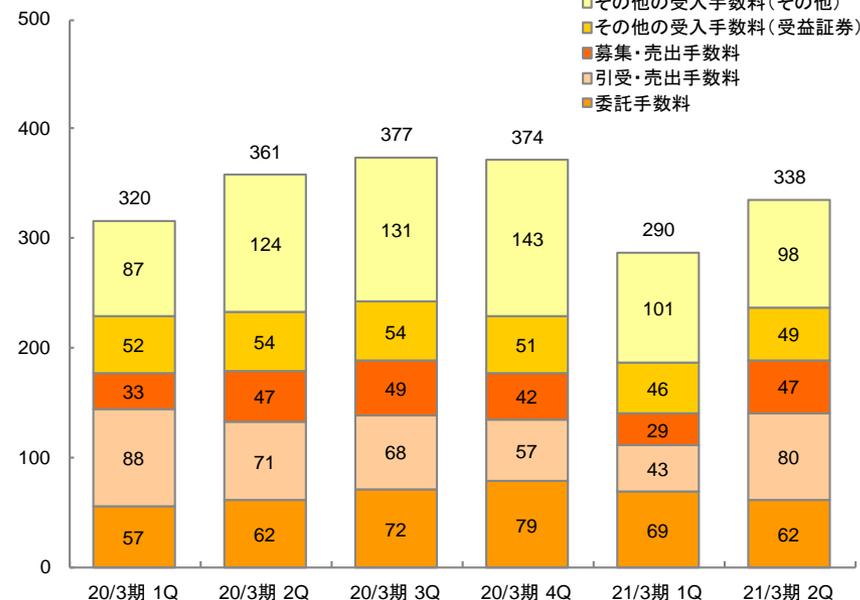
第2四半期実績：338億円

■ 前四半期比 +48億円 (+16%)

- 委託手数料：株式売買代金が前四半期対比では減少し減収
- 引受・売出手数料：企業の株式・債券発行による資金調達が増え回復し増収
- 募集・売出手数料：対面による営業活動量の回復に伴い、公募投資信託の販売額が増加

推移

(単位：億円)



(単位：億円)

委託手数料	120	132	+9%	69	62	△10%
引受・売出手数料	159	123	△22%	43	80	+85%
募集・売出手数料	81	76	△6%	29	47	+61%
その他の受入手数料(受益証券)	107	96	△10%	46	49	+8%
その他の受入手数料(その他)	212	199	△5%	101	98	△3%
合計	681	628	△7%	290	338	+16%

	2020年3月期 2Q累計	2021年3月期 2Q累計	前年同期比 増減率	2021年3月期 1Q	2021年3月期 2Q	前四半期比 増減率
委託手数料	120	132	+9%	69	62	△10%
引受・売出手数料	159	123	△22%	43	80	+85%
募集・売出手数料	81	76	△6%	29	47	+61%
その他の受入手数料(受益証券)	107	96	△10%	46	49	+8%
その他の受入手数料(その他)	212	199	△5%	101	98	△3%
合計	681	628	△7%	290	338	+16%

	2020年3月期 2Q累計	2021年3月期 2Q累計	前年同期比 増減率	2021年3月期 1Q	2021年3月期 2Q	前四半期比 増減率
委託手数料	120	132	+9%	69	62	△10%
引受・売出手数料	159	123	△22%	43	80	+85%
募集・売出手数料	81	76	△6%	29	47	+61%
その他の受入手数料(受益証券)	107	96	△10%	46	49	+8%
その他の受入手数料(その他)	212	199	△5%	101	98	△3%
合計	681	628	△7%	290	338	+16%

トレーディング損益・金融収支

第2四半期累計実績：856億円

■ 前年同期比 +121億円 (+16%)

- エクイティ業務：国内拠点は、デリバティブでポジション損失を計上したものの、外国エクイティが期を通じて堅調に推移し、全体では増収。海外拠点は、デリバティブで収益を計上し増収
- フィクストインカム業務：国内拠点は、対面営業活動制約からリテール顧客向け仕組債関連収益が低調だったものの、国債ポジション収益や国内債・外債販売が復調し増収。海外拠点は、レーツ・レボが収益を牽引

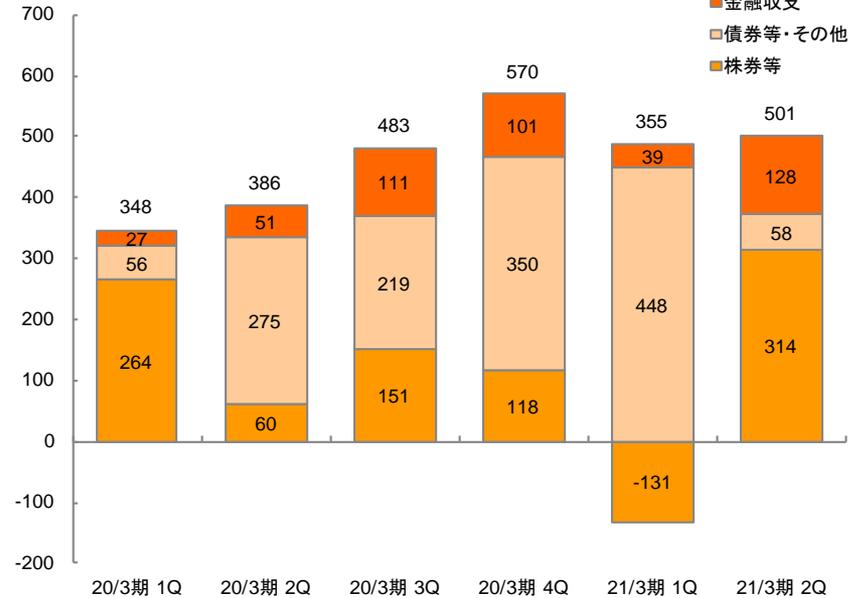
第2四半期実績：501億円

■ 前四半期比 +145億円 (+40%)

- エクイティ業務：国内拠点は、前四半期のデリバティブ損失剥落に加え、顧客フローも安定的に取り込み増収。海外拠点は、前四半期のデリバティブ収益剥落で減収
- フィクストインカム業務：国内拠点は、仕組債含むリテール外債が復調も、前四半期の国債ポジション収益が剥落しほぼ横這い。海外拠点は、前四半期のクレジットスプレッド拡大によるポジション損失が剥落し伸長

推移

(単位：億円)



(単位：億円)
株券等
債券等・その他
金融収支
合計

2020年3月期 2Q累計	2021年3月期 2Q累計	前年同期比 増減率
325	183	△43%
331	506	+52%
78	167	+113%
735	856	+16%

2021年3月期 1Q	2021年3月期 2Q	前四半期比 増減率
△131	314	—
448	58	△87%
39	128	+228%
355	501	+40%

【ご参考】管理会計ベース(※)

エクイティ業務
フィクストインカム業務
合計

	2020年3月期 2Q累計	2021年3月期 2Q累計	前年同期比 増減率
エクイティ業務	147	238	+62%
フィクストインカム業務	413	548	+32%
合計	560	786	+40%

	2021年3月期 1Q	2021年3月期 2Q	前四半期比 増減率
エクイティ業務	122	116	△5%
フィクストインカム業務	165	383	+132%
合計	287	499	+73%

※MUMSSとMUSAを含む海外拠点の管理会計ベース計数を単純合算して記載しております。

販売費・一般管理費

第2四半期累計実績: 1,308億円

■ 前年同期比 △116億円 (△8%)

- 国内拠点: 証券仲介手数料等の取引関係費が大幅に減少、前年度に実施したコスト構造改革も寄与
- 海外拠点: 収益連動性費用が増加したものの、前年度に実施したコスト構造改革による人件費減少により、ほぼ横這い

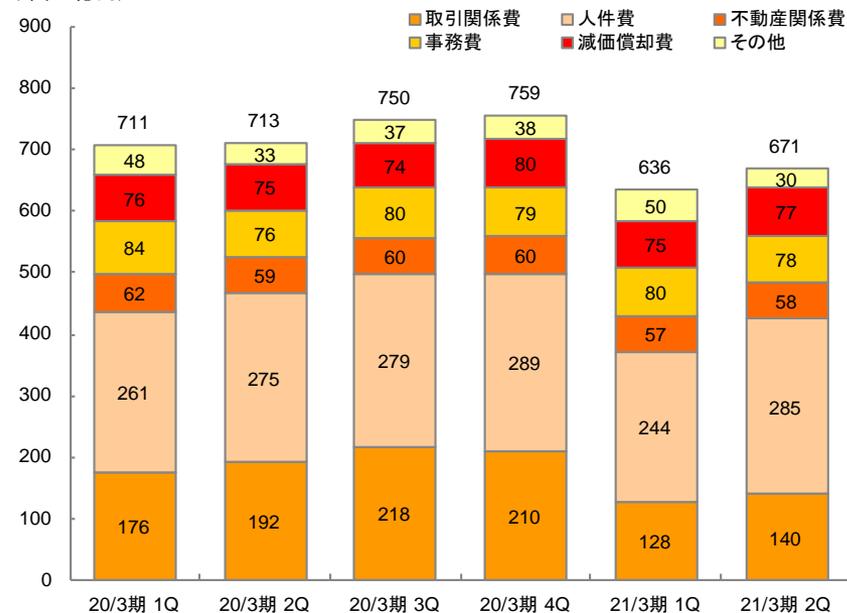
第2四半期実績: 671億円

■ 前四半期比 +35億円 (+5%)

- 国内拠点・海外拠点とも業績連動の取引関係費・人件費が増加

推移

(単位: 億円)



(単位: 億円)

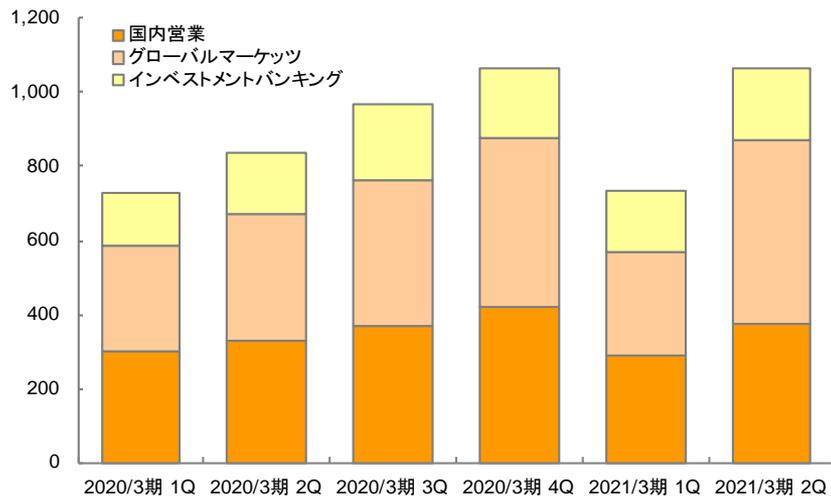
(単位: 億円)	2020年3月期 2Q累計	2021年3月期 2Q累計	前年同期比 増減率	2021年3月期 1Q	2021年3月期 2Q	前四半期比 増減率
	取引関係費	369	268	△27%	128	140
人件費	537	530	△1%	244	285	+17%
不動産関係費	122	116	△5%	57	58	+1%
事務費	161	159	△1%	80	78	△1%
減価償却費	151	153	+1%	75	77	+1%
その他	82	80	△1%	50	30	△38%
合計	1,425	1,308	△8%	636	671	+5%

業務別概要 (第2四半期実績)

- 全業務とも前四半期比増収。特にグローバルマーケットは大幅増収
- 国内営業: 前四半期のコロナ禍での営業活動制約から、リモート等顧客アプローチを多様化し活動量を回復、仕組債を含むリテール外債や株式投信の販売額も復調(11ページ参照)
- グローバルマーケット: 国内拠点・海外拠点とも増収。海外拠点は、ボラティリティ上昇による収益機会を捉え、フロープロダクツ業務が好調に推移。国内拠点は、前四半期不振だったエクイティ業務が顧客フロー取り込みで復調
- インベストメントバンキング: 国内拠点は、資金調達環境の改善とともに債券引受が復調。海外拠点は、米国起債市場拡大を背景に好調

推移

(単位: 億円)



※MUSAを含む管理会計ベースで記載しております。

単位：百万円

累 計
四 半 期

	累 計		四 半 期					
	2020年3月期 2Q累計	2021年3月期 2Q累計	2020年3月期				2021年3月期	
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業収益	204,655	191,720	97,828	106,826	117,999	133,125	107,264	84,455
受入手数料	68,129	62,840	32,012	36,117	37,720	37,441	29,014	33,825
トレーディング損益	65,669	68,955	32,114	33,555	37,162	46,836	31,676	37,278
その他の営業収益	4	4	4	0	—	—	4	—
金融収益	70,852	59,919	33,698	37,153	43,116	48,848	46,568	13,351
金融費用	63,021	43,193	30,997	32,023	31,937	38,658	42,665	527
純営業収益	141,633	148,526	66,830	74,802	86,062	94,467	64,599	83,927
販売費・一般管理費	142,503	130,866	71,132	71,370	75,096	75,987	63,669	67,197
営業損益	△869	17,659	△4,301	3,432	10,966	18,480	929	16,729
営業外収益	10,989	8,702	4,934	6,055	3,426	7,126	5,839	2,863
営業外費用	107	616	32	75	72	1,438	587	28
経常損益	10,012	25,746	599	9,412	14,320	24,169	6,181	19,564
特別利益	533	6	1	531	—	1,169	—	6
特別損失	610	469	265	345	40	1,819	138	331
法人税等	2,425	7,305	△441	2,867	5,532	7,432	1,526	5,778
非支配株主に帰属する当期純損益	3,322	3,147	24	3,297	2,385	5,492	156	2,990
親会社株主に帰属する当期純損益	4,186	14,829	753	3,433	6,362	10,594	4,359	10,469

単位：十億円

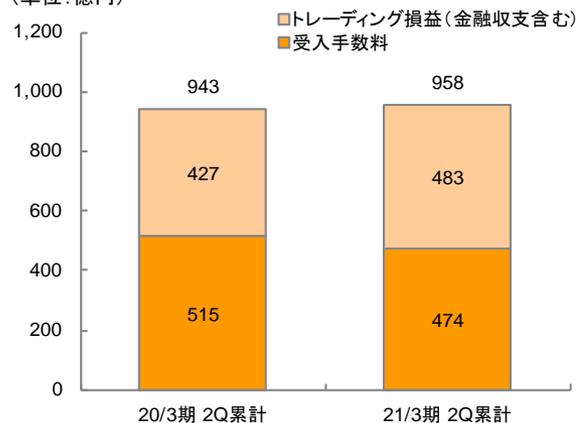
	2020年 3月末	2020年 9月末	増減額
資産の部			
流動資産	31,238	31,123	△115
現金・預金	2,185	1,862	△323
トレーディング商品	12,869	15,151	+2,281
有価証券担保貸付金	13,241	11,681	△1,559
その他	2,941	2,427	△513
固定資産	627	618	△9
有形固定資産	32	30	△1
無形固定資産	106	103	△3
投資その他の資産	488	484	△4
資産合計	31,866	31,741	△124

	2020年 3月末	2020年 9月末	増減額
負債の部			
流動負債	29,128	29,181	+53
トレーディング商品	11,765	11,923	+158
有価証券担保借入金	10,234	10,075	△158
短期借入金	3,259	2,344	△915
その他	3,868	4,837	+968
固定負債	1,789	1,623	△165
社債	1,017	884	△133
長期借入金	753	720	△32
その他	19	19	+0
負債合計	30,922	30,809	△112
純資産の部			
株主資本	701	708	+6
その他の包括利益累計額	△27	△45	△18
非支配株主持分	270	269	△0
純資産合計	943	931	△12
負債・純資産合計	31,866	31,741	△124

累計業績推移

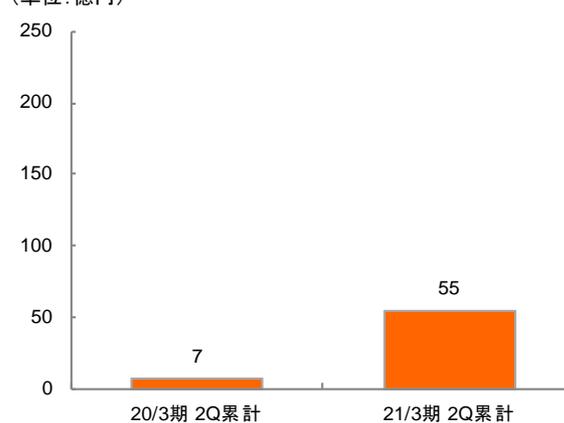
純営業収益

(単位:億円)



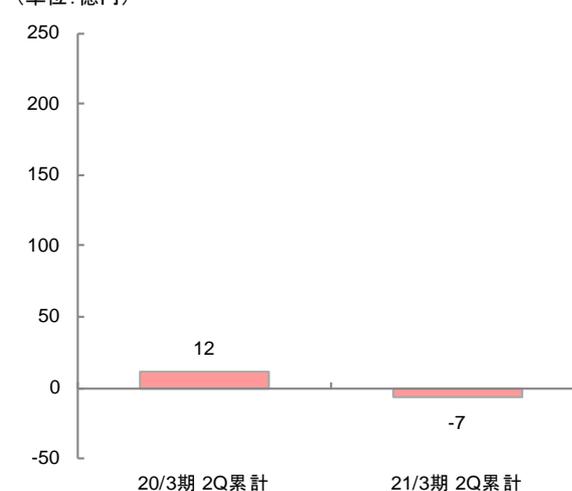
経常損益

(単位:億円)



当期純損益

(単位:億円)



四半期業績推移

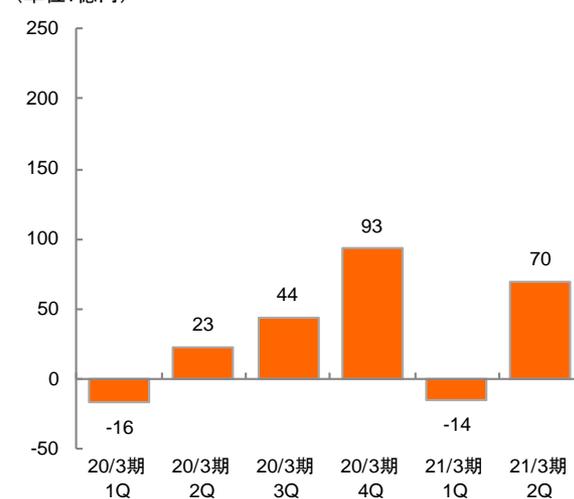
純営業収益

(単位:億円)



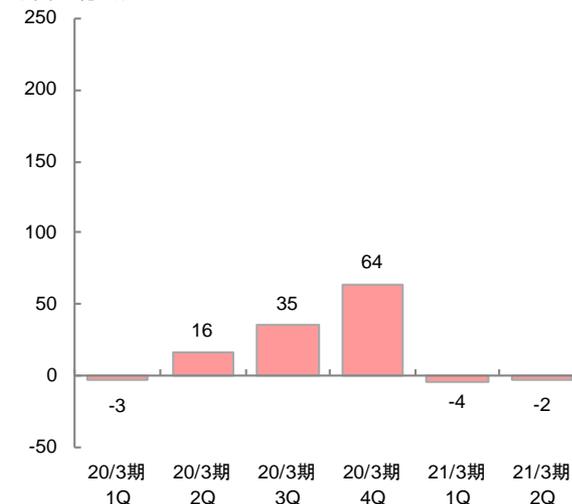
経常損益

(単位:億円)



当期純損益

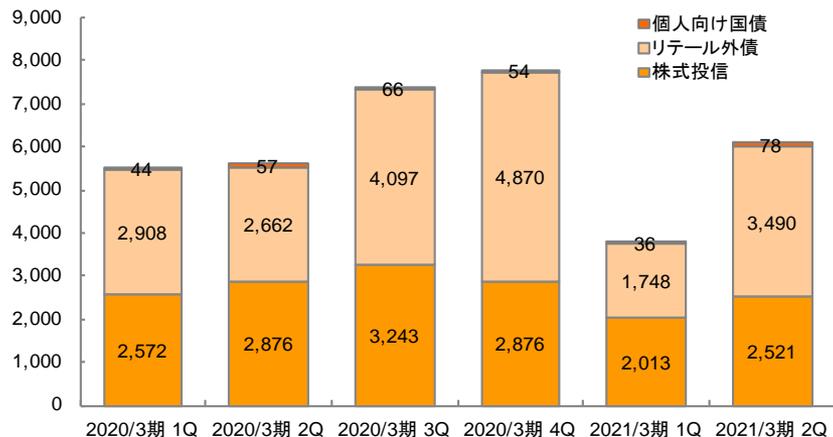
(単位:億円)



営業部門商品販売額

推移

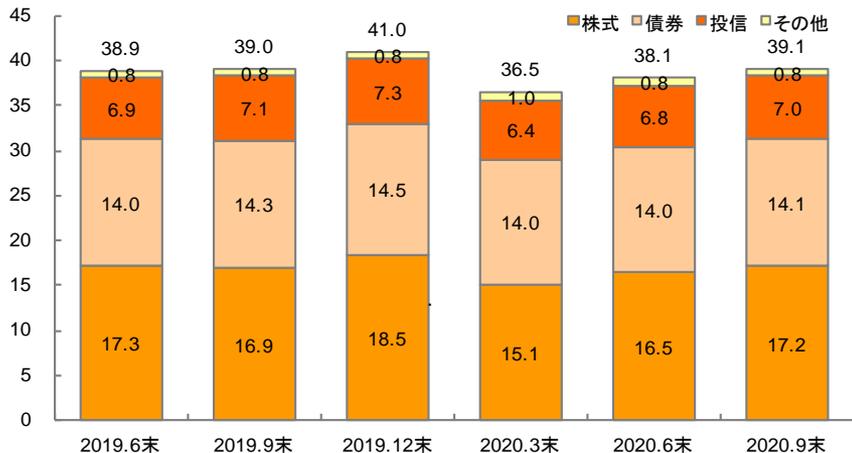
(単位:億円) ※2021年3月期1Qまでの計数は、旧MUMSPBとの単純合算ベースで記載しております。



預かり資産推移

推移

(単位:兆円) ※2020年6月末までの計数は、旧MUMSPBとの単純合算ベースで記載しております。



(四捨五入表示)

投資銀行業務 ～ リーグテーブル(2020年4月～9月)

債券(国内債+外債)総合シェア※1,2

順位	証券会社	シェア(%)
1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	18.8
2	みずほ証券	18.3
3	野村證券	14.2
4	SMBC日興証券	13.6
5	大和証券	12.7
6	JPモルガン証券	4.9
7	メリルリンチ日本証券	3.8
8	シティグループ証券	3.6
9	ゴールドマン・サックス証券	3.5
10	バークレイズ証券	1.6

国内外エクイティ総合シェア※3

順位	証券会社	シェア(%)
1	野村	29.8
2	大和証券グループ本社	22.0
3	三井住友フィナンシャルグループ	14.6
4	みずほフィナンシャルグループ	12.7
5	バンクオブアメリカ・メリルリンチ	5.5
6	JPモルガン	5.0
7	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	3.2
8	SBIホールディングス	2.2
9	シティ	1.3
10	東海東京フィナンシャル・ホールディングス	0.6

M&Aアドバイザー(取引金額ベース)※4

順位	アドバイザー	取引金額(十億円)
1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	10,405
2	野村	9,585
3	ゴールドマン・サックス	5,674
4	Deloitte	5,227
5	プルータス・コンサルティング	4,729
6	Zaoui & Co	4,246
7	The Raine Group LLC	4,246
8	三井住友フィナンシャルグループ	2,944
9	JPモルガン	2,459
10	BofAセキュリティーズ	2,314

※1: 出所: 国内債はREFINITIV及び同社提供のDealWatchDBより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。普通社債、財投機関債等(高速道路債を含む)、地方債等の国内債主幹事リーグテーブルを集計
外債は企業開示情報、Dealogic、Bloomberg、IFR、Informaのデータを基にモルガン・スタンレーMUFG証券作成

※2: 今回開示より国内債に外債を加えたシェアで記載

※3: 出所: REFINITIVより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成

三菱UFJモルガン・スタンレー証券には、日本企業による国内市場での株式引受案件におけるモルガン・スタンレーMUFG証券の引受分、日本企業による海外市場での株式引受案件におけるモルガン・スタンレーの引受分を含む

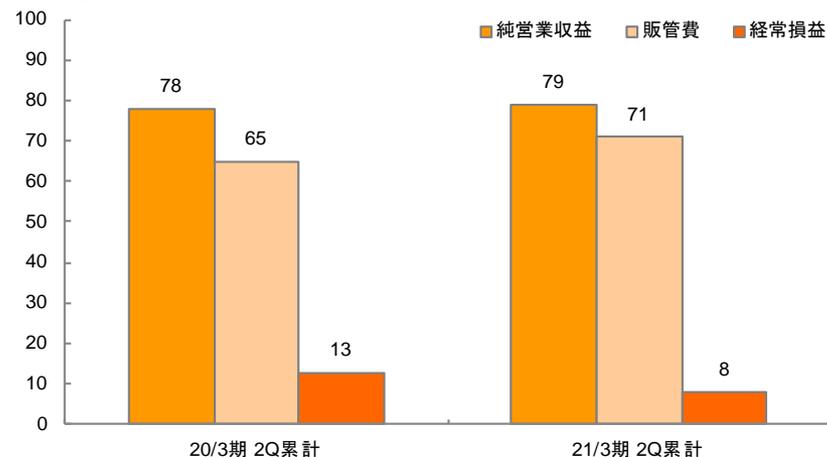
※4: 出所: REFINITIVより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成

日本企業が関わる公表案件(含、不動産取得案件)。三菱UFJモルガン・スタンレー証券にはモルガン・スタンレーがアドバイザーとなった案件も含む

auカブコム証券 累計業績推移

推移

(単位:億円)

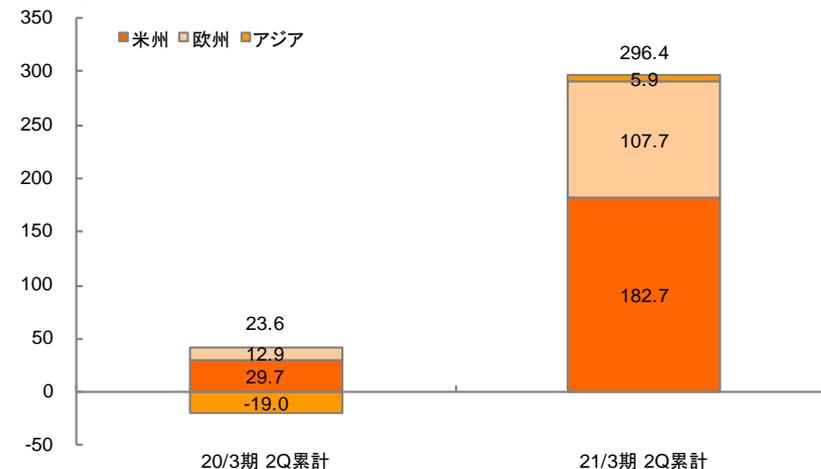


海外現地法人 累計業績推移

経常損益

(単位:億円)

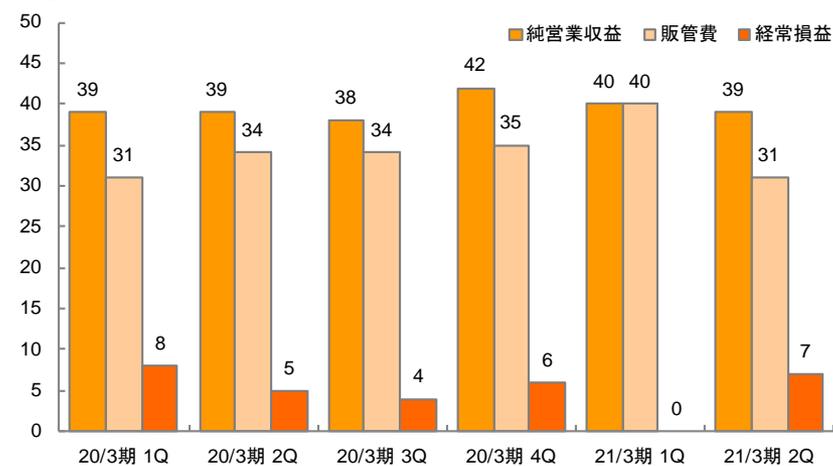
※ MUSAを含む実質ベースで記載しております。



auカブコム証券 四半期業績推移

推移

(単位:億円)

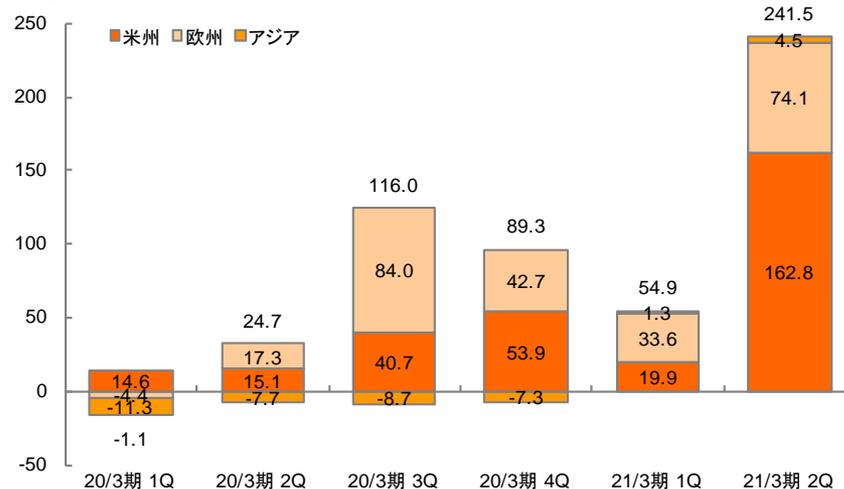


海外現地法人 四半期業績推移

経常損益

(単位:億円)

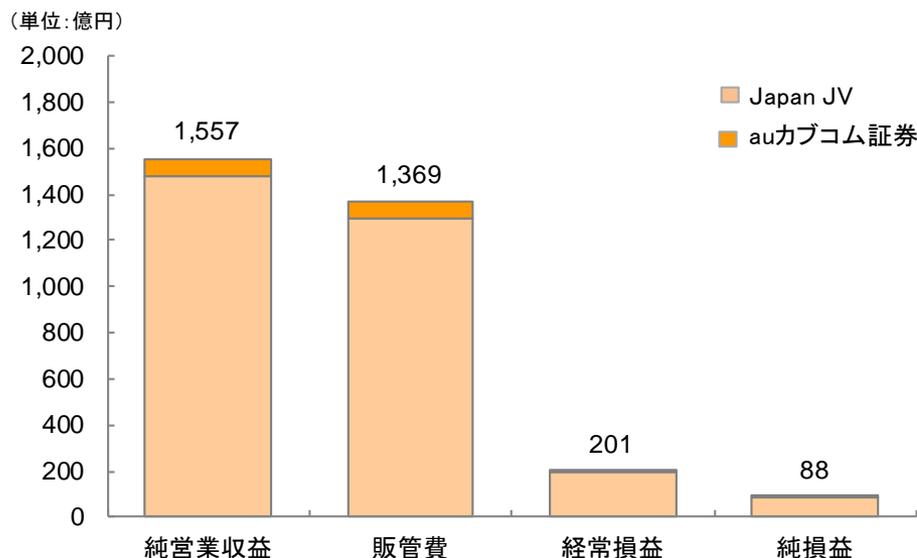
※ MUSAを含む実質ベースで記載しております。



国内証券会社 業績

- 国内証券会社の純営業収益は、単純合算で1,500億円超を計上
これには、日本におけるモルガン・スタンレーとの証券ジョイントベンチャーの一つで、持分法適用関連会社であるモルガン・スタンレーMUFG証券（MSMS）の純営業収益も全額含まれている
- 『国内証券会社』は、モルガン・スタンレーとの証券ジョイントベンチャーである2社（Japan JV）とauカブコム証券の合計3社

2021/3期 2Q(累計)の業績



※ 単純合算ベースで記載しております。

国内証券会社単純合算 (単位:億円)	2021/3期 2Q(累計)
純営業収益	1,557
Japan JV	1,477
MUMSS + MUMSPB * 1	1,061
モルガン・スタンレーMUFG証券 (MSMS) * 2	416
auカブコム証券	79
販売費・一般管理費	1,369
Japan JV	1,297
MUMSS + MUMSPB * 1	975
MSMS	322
auカブコム証券	71
経常損益	201
Japan JV	192
MUMSS + MUMSPB * 1	100
MSMS	92
auカブコム証券	8
純損益	88
Japan JV	85
MUMSS + MUMSPB * 1	23
MSMS	62
auカブコム証券	2

* 1 MUMSSとMUMSPBは、2020年8月1日にMUMSSを存続会社とする吸収合併を行いました。当該合併に伴い、MUMSS連結は無くなりましたので、MUMSS単体(4~9月)とMUMSPB(4~7月)との単純合算ベースで記載しております。

* 2 モルガン・スタンレーMUFG証券は、持分法適用関連会社です。

外部格付

	R&I	JCR	Moody's	S&P	Fitch
--	-----	-----	---------	-----	-------

三菱UFJ証券ホールディングス

長期格付	AA-	AA	A1	A-	-
短期格付	a-1+ *	-	P-1	A-2	-

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

長期格付	AA-	AA	A1	A	A-
短期格付	a-1+ *	-	P-1	A-1	F1

MUFG Securities EMEA plc

長期格付	AA- **	AA **	A1	A	-
短期格付	-	-	P-1	A-1	-

MUFG Securities (Canada), Ltd.

長期格付	-	-	-	A	A-
短期格付	-	-	-	A-1	F1

MUFG Securities (Europe) N.V.

長期格付	-	-	A1	A	-
------	---	---	----	---	---

*CP格付

**MTNプログラム格付（優先債）

自己資本関連指標

自己資本規制比率 MUMSS

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社の当期の自己資本規制比率につきましては、下記URLに掲載しております。

https://www.sc.mufig.jp/company/finance/cp_ratio.html



三菱UFJ証券ホールディングス

本資料は、2020年9月期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入または売却の勧誘または推奨を目的としたものではありません。本資料は、2020年10月27日現在のデータに基づき作成されており、本資料に含まれる財務情報等は、監査法人によるレビューの対象外です。本資料に掲載されている事実および見解は、本資料作成時点において当社が認識している事実および当該時点における当社の見解であり、これらの情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。その他、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。なお、本資料のいかなる部分についても、著作権その他一切の権利は当社に帰属しており、電子的方法を含め、いかなる方法または目的であれ、当社に無断で複製、配布、転送等を行うことが禁止されますので、この点をご了承の上、本資料をご覧ください。